

山行報告書

山行報告者：西尾

山域・山名：那須【朝日岳（東南稜）】フィールド：(バリエーション)	
入山日又は期間：平成 30年10月20日(土) 帰宅予定日： 10月20日	
プラン担当者 正：西尾 副：	
参加者	L：西尾 報：西尾 記：西尾 会員外：関矢 男 1名、女 1名、計2名
天候：曇ところにより霧(雲の中)	
10月20日 (土)	7:00 峠の茶屋駐車場(1462m) 8:00 東南稜取り付き点～(ガチャ装着) 9:00 ギャップ懸垂 10:00 朝日岳(1896m)山頂 10:20 峰の茶屋避難小屋 10:45 峠の茶屋駐車場(1462m) 11:30 北温泉到着
装備と食糧	共同装備(西尾)：ツエルト、ロープ8φ×30m×1本、カム、支点構築用セット 共同食：なし 車提供者：西尾 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食 クライミング装備 個人食：昼食・行動食
感想&要注意事項	<p>朝日岳東南稜へは一般ルートの4番看板から明礬沢へ下り取付く。東南稜左側の浅いルンゼからガレ場をたどると稜線上へ出るが、ここは岩が脆く落石に十分注意したい。しばらく稜線上を歩くと門と呼ばれる岩峰の基部に到着する。</p> <p>ここでロープの準備をして左側の岩峰から右手に巻くように進み、懸垂下降地点となるギャップの上へと出る。約7mの懸垂下降でギャップに降り立つと、今日の核心部となる垂壁が現れる。チムニー状の岩場を登り、やや右手に進むとガレた稜線上に復帰する。</p> <p>右手から稜線を絡めながら登ると朝日岳直下のスラブの岩場となる。このスラブは直登せず、朝日岳の山頂に到着する。あとは一般ルートを下るだけだが、途中の鎖場では滑落に要注意だ。朝日岳東南稜はガレ場が多いのでロープを使用する際には落石に最大限の注意を払うこと。上記の理由から下部(門まで)でのロープの使用は控えたい。</p> <p>ギャップからの核心部では転落に注意。 中間支点用にカム1～2セットがあると心強い。</p> <p style="text-align: center;">次ページへ</p>



